

【水稲】育苗センター播種式

4月6日、楡葉町水稲育苗センターにおいて水稲生産者に供給する水稲苗の生産に向けた施設の稼働と併せて「播種式」が行われ、安全な作業体制の構築と健全な苗を生産者に届けられるよう祈願しました。床土や覆土の厚さ、種もみの量や機械の動作等、一連の作業工程について全員で確認作業を行いました。



播種総数15,000箱

【有機栽培】松館有機有志会でプール育苗

4月14日、町内で有機栽培に取り組んでいる「松館有機有志会（松本広行会長）」でコシヒカリの種蒔き作業が行われました。この日を含め合計560箱に播種し、隣接するビニールハウス内に運び入れ「プール育苗」という手法で育苗管理を行い省力化にも取り組んでいます。



【暑さ対策】暑さの感じ方は人によって違います！

県内では毎年5月上旬から熱中症が発生しています。農業の場合、屋外だけではなくビニールハウス内で発症する事例もあります。普段から天気予報をチェックし熱中症対策に取り組みましょう！

熱中症対策はあなたの命を守ります！

農作業中の暑さ対策は必ず実行！

- 体調がすぐれないときは作業を避けましょう！
- 20分おきに休憩と水分補給を行いましょう！
- 暑さの抵抗力に合わせて万全の対策・予防を！

農機点検と安全確認の徹底を！

令和5年5月
福島県楡葉町（農林水産課）
〒979-0696
双葉郡楡葉町大字北田字鐘堂突5-6
TEL：0240-23-6104
FAX：0240-25-1234

次号の「営農情報ならは」は、
①農業者紹介
②楡葉町特産品開発センター
③甘藷収量アップの取組み
等について掲載する予定です

営農情報ならは³¹



【農業者紹介】スマート農業・農福連携にチャレンジ！

楡葉町の水稲面積は農業者の皆さまの取組みにより年々拡大し、今年度は約320haまで広がる見込みです。今回ご紹介する株式会社ナラハアグリ代表の片寄利剛さんは約55haの水田で水稲生産を行う予定で大規模化による課題解消のため播種作業の効率・省力化を図ることを目的に一部の水田で「グレーンドリルによる乾田直播栽培」に取り組みました。県が推進するスマート農業のひとつで高速作業が可能な播種機により作業を行うもので育苗や代かき作業が不要で作業時間の短縮、省力化につながります。

一方、従来の田植え方式（移植栽培）を行っているほ場では、田植えの際の労力不足が課題のひとつでしたが昨年からの取組んでいる農福連携により、苗箱や肥料運搬を福祉部門の方々にサポートいただくことで効率的に田植え作業が行えるようになりました。



苗箱や肥料のサポート

- 福島県が推進する「スマート農業社会実装推進事業」
以下の事業が楡葉町内で行われており、これらの実証を経て福島県は技術の普及・推進を図っていく方針です。
- ①水稲のブラウ耕・グレーンドリル播種体系による乾田直播栽培
 - ②タマネギの直播栽培技術の安定化
 - ③トルコギキョウを核とした花きの周年生産



【6次産業化】 檜葉町特産品開発センター完成！

先月下旬、檜葉町特産品開発センターが完成し落成式（4月28日）が行われました。この施設は地元で生産された甘藷や柚子、米等の農産物を処理・加工することになっており、①甘藷は干し芋やペースト・パウダー等、②柚子は搾汁とペースト、パウダー③GABA米を使用しパウダーに加工する予定です。

農林水産課は施設の運営主体である一般財団法人檜葉町振興公社と連携し特産品開発と併せて甘藷生産農家の生産安定と経営支援につながる仕組みを構築するとともに、食品ロスの削減や地産地消の推進等、食による健康づくりを継続的に推進していく方針です。



名称：檜葉町特産品開発センター
場所：檜葉町大字前原字大木田77-1（檜葉町甘藷貯蔵施設西側）

【柚子増産計画】今年度は新たに50本植栽予定！

農林水産課は、檜葉町特産品開発センターで使用する柚子の需要が増えることから出荷を目的に柚子の生産者を募集しました。その結果、複数名の方から栽培管理に関する照会や植栽適地等に関する相談があり、今年度は50本の苗木を配付する予定です。

なお、柚子の苗木は今月中旬までに植栽できるよう配付準備等を進めています。

柚子は豊作の表年と不作の裏年を毎年繰り返しますが剪定や摘果を適切に行うことで予防できます。毎年、安定的な生産を目指しましょう！



苗木は3年もので
樹高約1.5~1.8m

【甘藷収量アップ】 農業者個別勉強会開催！

JA福島さくら檜葉町甘藷生産部会は年々部会員が増加しており、令和5年4月末時点で45名の生産者が約22haの農地で甘藷栽培を行う見込みです。4月18日から21日にかけて福島県相双農林事務所双葉農業普及所やJA福島さくら等関係機関と連携し、甘藷の収量アップに向けた取組みとして希望する農業者の方々を訪問し「個別勉強会」を開催しました。

今年度は4月上旬に苗植え作業が始まる等、昨年よりも植付け時期が早まったことから町は防霜対策本部を設置し農業者への情報発信等を行いました。これまで土壌分析や施肥設計等に取組んできましたが思うように増収につながっていないこともあり、農林水産課は県普及所やJA等の関係機関と連携し、希望する農業者31名の生産ほ場に出向き、昨年までの栽培管理等を振り返りつつ、具体的な対応・対策について情報交換を行いました。苗植え後のポイントとしては「栽培初期段階の雑草管理」が重要です。除草作業を徹底するとともに、病気等の発生を防ぎ反収2トン以上を目指し農業経営の回復と安定化を図りましょう！



栽培初期段階の雑草管理の徹底を！

甘藷栽培に関するご相談はお気軽にお問い合わせください！
【農林水産課】 電話：0240-23-6104



【浜再生研】 甘藷の収量アップに向けた排水対策実証！

4月11日、福島県農業センター浜地域農業再生研究センターによる「水田の畑地化」に向けた実証ほ場の現地確認会が行われました。

水田で甘藷栽培を行う際は畦畔の内側に水の逃げ道となる明渠を作ることや畝間に水が溜まらないように排水対策を行うことも必要とのことでした。



水が溜まらないようにする工夫を！